



火災・救急・救助 119  まとい
消防瓦版纏 No.387

〒 富良野広域連合富良野消防署占冠支署
☎ 56-2119

通電火災について

皆さんは通電火災という言葉をご存知ですか。通電火災は、地震や津波などの自然災害による停電の後、電気が復旧する際に発生する火災です。主な原因として、倒れた電気家具や断線した配線から出火する事例があげられます。この火災の恐ろしさは、居住者の避難後等、無人となった室内から発火することです。発見が遅れ、あっという間に火災が拡大してしまいます。自然災害による停電が発生した場合は以下の対応をとるようお願いします。

- 停電中は電気機器のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜くこと。
- 停電中に自宅等を離れる際はブレーカーを落とすこと。
- 再通電時には、漏水等により電気機器等が破損していないか、配線やコードが損傷していないか、燃えやすいものが近くにないかなど、十分に安全を確認してから電気機器を使用すること。
- 建物や電気機器に外見上の損傷がなくとも、壁内配線の損傷や電気機器内部の故障により、再通電から長時間経過した後、火災に至る場合があるため、煙の発生等の異常を発見した際は直ちにブレーカーを落とし、消防機関に連絡すること。

救急出場状況

(11月分) 

急病	4件	(4人)
11月計	4件	(4人)
累計	120件	(111人)
※ () 内は搬送人員		

地域とともに コミュニティ・スクール情報
～占冠中央小学校～

今年度2回目となる占冠小中学校運営協議会を昨年11月に開催しました。例年は年3回開催していた協議会ですが、今年度は4回開催する予定としています。例年より1回多くした理由は、子どもが中学校を卒業する時、育ててほしい姿を明らかにしようとするところが大きなねらいです。

これまで、地域の方には、学校の教育活動はもとより、子どもたちの成長に大きなお力添えをいただいているところです。このような中、学校運営協議会では、学校、家庭、地域が、子どもを育てる方向性やゴールを共有する必要があると考え、中学校を卒業する段階、いわゆる義務教育が終了する段階で育ててほしい子どもの姿について議論を重ねてきました。

11月の協議会では、育ててほしい子どもの姿として、キーワードとなるもの、誰もが分かる表し方などについて熟議を行い、めざす子どもの姿を3つに整理しました。

現在、小中学校の保護者の方や教職員、学校の教育活動に力強いご支援をいただいている団体の方にアンケートをとり集計中ですが、今後の学校運営協議会で、その声も反映させて、『義務教育終了段階におけるめざす子どもの姿』を決めていく予定です。占冠中央小学校では、その姿を踏まえて、次年度の目標や教育活動を決めていくこととしています。



〒 占冠村教育委員会 ☎ 56-2182

消 費者庁では、65歳以上の高齢者が自宅で転倒したという事故情報が5年間で275件寄せられています。後期高齢者の事故発生件数は、前期高齢者と比べると2.2倍多い結果となっています。また、8割以上の方が通院や入院が必要なのが特徴です。転倒によるけがの場所は、『頭』『顔』『首』の『擦過傷、挫傷、打撲傷』が多く、次に『脚・足』の『骨折』も多く、骨折をした場合は要入院となる高齢者が76%に上ることがわかっています。



下記の場所では、転倒事故が特に発生する傾向がありますのでご注意ください。

浴室、脱衣所、庭、駐車場、ベッド
布団、玄関、勝手口、階段



1 運動機能を高めて転倒を防ごう

運動は、家庭で簡単なトレーニングを継続していれば十分に効果があります。

- ①背もたれのある椅子に腰かけ、ゆっくりと膝をのばしておろす動作を左右交互に行う。
- ②椅子に座った姿勢から立ち上がる動作の反復。
- ③関節を柔らかくするストレッチなどによる怪我をしにくい身体づくり。

2 転倒しにくい環境を整備



通りの片付け

生活の動線上、何度も通る場所には、積み重ねた雑誌や新聞類・電源コードなどつまずきやすいものや引っ掛かりやすいものを取り除きましょう。



適した履物を

歩きやすく着脱しやすい安定感のある靴を選びましょう。スリッパなどかかとがない履物は滑ったり、脱げやすいため転倒の原因となります。



転倒防止器具

浴室や脱衣所には、滑り止めマットを敷きましょう。また、段差のあるところや階段、玄関には、手すりや滑り止めを設置しましょう。

3 外出時の注意

- 裾のからまりやすい服装は避けて、動きやすい服装で外出しましょう。
- 荷物があるときは、リュックサックなどの両手が開くバックを利用しましょう。
- 雨や雪の日の外出はなるべく避け、出かける場合にはしっかり滑り止めのついた靴を使用しましょう。

こんにちは
保健師です

〒 住民課保健予防担当
☎ 56-2122

運動機能の向上と、転倒を未然に防ぐ環境の整備を。

住み慣れた自宅でも要注意!

